

会場名	サブリーダー	
	役職	氏名
大阪国際会議場 12 階 特別会議室	ロータリー財団委員会 委員長	村橋 義晃
	次年度ポリオ・プラス小委員会 委員長	北口 竜輔
リーダー 役職・氏名	資金推進小委員会 委員長	川上 哲司
パストガバナー 四宮 孝郎	資金管理小委員会 委員長	相馬 康人
	奨学金小委員会 委員長	渡邊 徹
議事録作成者	藤戸達也、石山輝行(大阪大淀)	

開会：(15 時 30 分)
発表者：パストガバナー 四宮 孝郎
<p>【記録内容】御挨拶</p> <p>・財団にはお金を集めるイメージが強いが、いかに各クラブに実効性のある・インパクトのある事業をして頂くか、そのために財団資金を活用頂く、そしてその資金の原資をご寄付頂く事が重要な役割である。</p>
発表者：財団委員会 委員長 村橋 義晃 (15 時 35 分)
<p>【記録内容】ロータリー財団と補助金について</p> <p>① ロータリー財団の「定義」と「使命」</p> <p>② RI-D 2660 ロータリー財団補助金「重点施策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争で傷ついた人への人道的支援 ・コロナ禍で傷ついた子供や若者への支援 <p>③ RI-D 2660 中期3カ年目標と年次目標</p> <p>年次目標</p> <p>年次基金寄付 \$ 150 / 会員</p> <p>ポリオ・プラス \$ 50 / 会員</p> <p>恒久基金寄付 \$ 30 / 会員</p> <p>④ ロータリー財団補助金の原資</p> <p>3年前の年次基金+恒久基金の収益を配分</p> <p>配分割合は、地区財団活動資金 (DDF) 47.5%</p> <p>国際財団活動資金 (WF) 47.5%</p> <p>運営費 5.0%</p> <p>⑤ ロータリー財団「補助金の種類」</p> <p>地区補助金：小規模、短期、地区が管理しキャッシュで配分、年度内申請1件</p> <p>グローバル補助金：ロータリーのある地区、7重点分野、持続性必要、通年随時申請</p> <p>大規模プログラム補助金：6重点分野、持続性、国際競争性、毎年1口</p> <p>災害救援補助金：被災地区が申請</p>

⑥ 地区補助金利用「スケジュール」

3～4月 次年度の申請受付 8月に着金後、事業開始。

申請の次年度に補助金ができる事に注意。

⑦ RACのための財団補助金「活用情報」

今年度からRACが補助金を使えるようになった。ただし、前年度の寄付実績が必要。

⑧ RI-D 2660地区財団委員会「活動と役割」

年次寄付目標の達成とゼロクラブをゼロに！！

発表者：次年度ポリオ・プラス小委員会委員長 北口 竜輔

(16時00分)

(記録内容) ポリオ根絶について

- ・ポリオ根絶活動は35年間続けており、世界中に蔓延していたポリオは、あとアフガニスタンとパキスタンのみとなった。
- ・ポリオ根絶は、ロータリーの最優先項目であり、世界中の子供たちへのロータリーの約束。
- ・理由は①人々への生活向上②未来への投資③子供の健康を向上④医療費の削減⑤歴史を作る
- ・やるべき事は①認識の向上②情報発信③イベント実施④政府への働きかけ⑤寄付
- ・ポリオに\$50の寄付を！ゼロクラブをゼロに！

発表者：資金推進小委員会 委員長 川上 哲司

(16時10分)

【内容】財団寄付

① 財団寄付の地区目標について

年次基金寄付 → 会員1人当たり 年間 150ドル 以上

※3年間運用された後、使用される

※前年度の寄付実績が地区補助金の配分率に反映される

ポリオプラス基金 → 会員1人当たり 年間 50ドル 以上

恒久基金寄付 → 会員1人当たり 年間 30ドル 以上

※今年度より創設された。以前まではベネファクターからであった。

※基金の元本は使用されず、収益のみ使用。

② 財団寄付の認証について

ベネファクター、ポールハリスフェロー、メジャードナー等様々な認証がある。

③ 財団寄付の方法と優遇措置について

・銀行振込は寄付分類を決める、寄付送金明細書を記入する

・オンラインだとMy ROTARYで手続きが可能でクレジットカード決済できる。

税制上の優遇が受けられるため、国は日本、通貨は円を選択してください。

④ ロータリー・クレジットカードについて

今年度から事務局の名前で登録できるようになった！

⑤ まとめ

発表者：資金管理小委員会 委員長 相馬 康人

(16時20分)

【内容】財団資金管理

・資金効率化、恩恵最大化を目的とする。そのためにすべきことは以下4点。

① 中間団体経由によるロス防止

→ロータリー会員による直接調達

<p>② 特定の受益者に偏らない事</p> <p>③ 惰性化及び既得化の防止 →継続的支援の禁止</p> <p>④ 透明性を高めチェック可能に →ルール順守・報告書提出 (入出金について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ず「補助金専用口座」から直接支払い ・事業開始は補助金着金後 ・補助金着金前に残高 0 円にする <p>(報告書について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受益者の特定 ・費用明細の添付 ・通帳と領収書と報告書に対応する番号付与 ・補助金着金から 6 か月経過した場合中間報告書を提出 <p>(その他注意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受益者の個人データおよび写真は公表しない事！
<p>発表者：奨学金小委員会 委員長 渡邊 徹 (16時32分)</p>
<p>【内容】財団奨学金</p> <p>① 奨学金プログラムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区補助金・・・授与額 40～120 万円、財源は DDF ・グローバル補助金・・・授与額 3 万ドル以上財源は DDF と WF (WF は DDF 80% 上乘) ・平和フェロシップ・・・修士号取得平均 100,600 ドル、財源は WF <p><u>7 重点分野</u></p> <p>母子の健康、基本的教育と識字率の向上、地域社会の経済発展、疾病予防と治療、平和構築と紛争予防、水と衛生、環境</p> <p>② グローバル奨学金について</p> <p>大学院の専攻も含め、7 重点分野でキャリアを築く事。</p> <p>③ 平和フェロシップについて</p> <p>平和の構築に向けた活動家のための奨学金プログラム。これまで 1400 人の実績あり。</p> <p>④ 2660 地区の奨学金プログラムの取組実績について</p> <p>RI-D 2660 で 2006 年から 13 名の実績あり。</p>
<p>発表者：リーダー・サブリーダー (16時 45分)</p>
<p>【内容】質疑応答</p> <p>① 中ノ島ロータリー財団の戸田様からポリオ根絶に関するご意見を頂戴した。 様々な意見がある事、それを認めて受け止めていくことが多様性を実現していく事と認識。</p>
<p>閉会 (16時 50分)</p>

2023 年 4 月 24 日 (月) までに Word のままメール添付でお送りください。

返信先：ガバナー事務所 E-mail : sugimoto@ri2660.gr.jp